



「多文化共生×JICA」 in 広島



～海外協力隊経験を地域の日本語教室で生かす～

地域の多文化共生の現場、とりわけ今回は、日本語教室で活動している青年海外協力隊経験者にお話を伺い、異文化での生活経験や教壇経験を地域社会に還元する方法を探ります。

日時：2021年2月21日(日)19:00～21:00

会場：オンライン会議システム ZOOM

参加費：無料

対象者：青年海外協力隊 OB/OG
地域の日本語ボランティア等

プログラム：

第1部：各地域の日本語教室の活動事例紹介

- ・福山市：アルゼンチン日系日本語学校教師(SV) 宮野宏子
- ・三原市：シリア 陸上競技 木村宣子
- ・江田島市：中国 日本語教師 胡子和子
- ・広島市：コスタリカ 日本語教師 橋本優香

第2部：パネルディスカッション

第3部：分科会



問い合わせ：

広島市にほんごデスク jsldesk@pcf.city.hiroshima.jp

お申込み：

<https://forms.gle/cXYyx3FzUAVxHFa76>

定員 90 人

申し込みメ切 2月20日(土)17:00

zoom 接続先 URL は、2月20日にお送りします。

届かない場合は、広島県 JICA デスク

080-2934-8494(はだて)までご連絡ください。



登壇者プロフィール

名前
橋本 優香

派遣国
コスタリカ

職種
日本語教師



ニュージーランド、コスタリカの大学で教壇に立ち帰国。ひろしま国際センター、広島県社会福祉協議会などで、留学生や生活者の日本語支援に携わる。その後 JICA 国際協力推進員として地域の国際理解教育に関わり、現在は広島市の日本語教育コーディネーター。



名前

宮野 宏子

派遣国

アルゼンチン

職種

日系日本語学校教師(sv)



市職員時代に地域の日本語教室の立ち上げに関わったのち、日本語教師となる。シニアボランティアとして協力隊参加後、市役所を退職。小学校で日本語指導講師をする傍ら、多文化共生の取り組みに関わっている。現在は、主にびんご日本語多言語サポートセンター「びると」、ふくやま日本語教室「ともだちひろば」で活動中。

名前

胡子 和子

派遣国

中国

職種

日本語教師



大学卒業後、日本語教師として福山大学などで教壇に立つ。協力隊参加後は地域のボランティア活動にも幅を広げ、(一社)広島ベイネットを設立。現在は、広島国際医療福祉専門学校で日本語を教える傍ら、県立高校で外国籍生徒の学習支援をしている。また、江田島市国際交流協会「えたじま日本語クラブ」の運営にも関わっている。

名前

木村 宣子

派遣国

シリア

職種

陸上競技



広島県立学校教員として協力隊現職参加。帰国後も高校教員を続けながら、日系2・3世労働者の支援活動と日本語教室を始める。退職後青年海外協力協会中国支部長を経て、現在は三原市の日本語教室で技能実習生の日本語指導を行いつつ、地域の国際理解教室等の講師を務める。